

平成30年度

家庭学習の手引き

えりも町立えりも小学校

～ 家庭学習とは～

家庭学習とは、主に ①学校からでる宿題 ②自主的な学習（宿題以外の自分で学習する内容を決めて取り組む学習 「ノート学習」「音読」など）の2つをいいます。

～ 家庭学習のねらい～

(1) 家庭での学習習慣と身に付け自立性を育てます。

⇒小学生のうちに机に向かう習慣や、進んで課題に取り組む力を身につけることが、将来に大きく役立ち、学力が身につきます。

(2) 「自ら学習に取り組む力」を育てます。

⇒自分で課題を見つけ、全ての学習の基礎となる『読み』・『書き』・『計算』を中心に、習ったことの振り返りやこれからの予習に取り組む力がつきます。学習内容をしっかりと自分のものにします。

(3) 「考える力・表現する力」を高めます。

⇒学習したことや調べたことを自分なりに工夫してまとめることで、考える力や表現する力を高めることができます。学年が上がるにつれ、ノートを使いこのような学習に取り組めることが望ましいです。



1. 目指す子どもの姿～保護者の皆様へのお願い～

まずは机に向かう習慣から！ 低学年

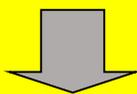
《身に付けてほしい力》

- 学校の宿題が確実にできる。
- 宿題以外にも、少しずつ自主的な学習ができる。



《身に付けるために…》

- ☆学習する時は、できるだけ近くでみてあげてください。
- ☆静かで整った環境で学習に取り組む習慣作りをお願いします。（テレビは消すなど）
- ☆自主的な学習に取り組むときは、時間をはかたり、問題をだしたりなどのサポートをよろしくお願いします。丸つけも可能な限りやることで、間違いをすぐに直すことができます。子どもたちの意欲や学習の定着につながります。
- ☆少しずつ自分で時間割や学習用具をそろえられるよう練習をお願いします。



自分から学習に取り組む姿勢を！ 中学年

《身に付けてほしい力》

- 学校の宿題ができる。
- 宿題以外にも、自主的な学習に取り組むことができる。



《身に付けるために…》

- ☆自分から学習に取り組めるよう励ましをお願いします。
- ☆自主的な学習に取り組むときは、どのような学習をすると良いのか選択肢を与えるなど、サポートや助言があると、お子さんも取り組みやすくなります。解答がある場合は、自分で丸付け・間違い直しもさせるとより学習内容が身に付きます。



自分に必要な学習を計画的に！ 高学年

《身に付けてほしい力》

- 学校の宿題ができる。
- 必要感のある内容を考え、自主的な学習に計画的に取り組むことができる。



《身に付けるために…》

- ☆お子さんの頑張りを見守り、温かい言葉がけをお願いします。
- ☆学習仕立てで、十分に身に付いていない内容、自分の苦手分野、興味がある・得意な分野など、1週間の学習をバランスよく進められるようサポートをお願いします。解答がある場合は、自分で丸付け・間違い直しもさせるとより学習内容が身に付きます。

2.家庭学習を始める前の約束～集中して取り組むために～

- (1) 決まった時刻になったら机に向かうようにする。
→決まった時刻に行くようにすることで、習慣化につながります。どの時間帯に家庭学習に取り組むのが最適か、ご家庭で話し合ってみてください。
学習時間の目安→「学年×10分」+10分 以上
- (2) 机の上は勉強道具だけにする。
→勉強道具以外のものがあると、気が散りやすくなります。
勉強道具だけにすることで、集中力も高まります。
- (3) 「ながら勉強」(テレビを観ながらなど) はしない。
→何かをしながら学習すると、集中ができません。また、集中ができないことにより、学習の理解も深まらなくなってしまいます。テレビを消す、家族もゲームをしないなどの工夫をお願いします。
- (4) 学習するための正しい姿勢や鉛筆の持ち方を確認する。
→正しい姿勢や正しい鉛筆の持ち方をすることで、集中や丁寧な字を書くことにつながります。丁寧さを心がけることで、問題に取り組むときにも、問題をしっかりと読むなど、落ち着いた学習につながります。

3.家庭学習の進め方

- (1) 宿題に取り組みます。
- (2) 自主的な学習に取り組みます。

☆ノート学習の場合は…(以下参照)

- ① 日付と曜日を書きます。(更に、今日学習することやページ数などを書く、目的意識をもったり、振り返ったりしやすくなります。)
- ② 学習の始めの時刻を書きます。
- ③ 学習に取り組みます。
- ④ 学習の終わりの時刻を書きます。

☆ドリルなどの場合は…

- ① 日付と曜日を書きます。
- ② 空いているところに、学習の始めの時刻を書きます。
- ③ 学習に取り組みます。
- ④ 学習の終わりの時刻を書きます。



5,自主的な学習の内容

各学年の修了時まで身に付けておきたい主な力は、以下の枠の中に書かれている力です。そのために、今年度は各学期に「全員到達目標」を設定し、段階的に力を育てていきます。6年生については、中学校進学へ向け、これまでの学習内容をすべて身に付けるため、確実な目標を立てながら定着を図っていきます。全員到達目標をクリアするために、自主的な学習に取り組めるよう言葉がけをお願いいたします。

以下の学習内容はあくまでも一例です。必ずこの通りにしなければならないものではなく、何をしたらよいか困った場合の見本ですので、参考にしてください。また、チャレンジカードに記載する学習の計画の参考にもしてください。

低学年

1年生

～1年間で身に付けたい力～

- ・鉛筆を正しく持って正しい姿勢で字が書ける。
- ・ひらがな・カタカナの読み書きができる。
- ・助詞「てにをは」を使い分けて文章を書く。
- ・新出漢字（80字）の読み書きができる。
- ・100までの数について数えたり表したりできる。
- ・ケタのたし算やひき算が正確にできる。など

～自主的な学習の例～

【国語】

- ・教科書の音読（句読点に気をつけずらすらと）
- ・ひらがな・カタカナ・漢字練習（ていねいに）
- ・教科書の書き写し
- ・本を読んだ感想
- ・絵日記や日記
- ・教科書の次に習うところの確認



【算数】

- ・教科書や問題集などを使って習ったことを繰り返して学習する。
- ・計算練習（正確に→速く正確に）
- ・九九の暗唱（2年生）
- ・問題作り
- ・教科書の次に習うところの確認 など

2年生

～1年間で身に付けたい力～

- ・新出漢字（160字）の読み書きができる。
- ・九九がすらすら言える。
- ・たし算・ひき算・かけ算を速く正確にできる。
- ・筆算をきれいに書きながら計算できる。
- ・決められた長さの直線を正確に引くことができる。
- ・時計を見て、何時何分か読むことができる。 など

マスの使い方や途中計算を意識して、計算問題に取り組んでいます。

一画一画ていねいに取り組んだことが伝わる漢字練習です。

高学年

5年生

～1年間で身につけたい力～

- ・配当漢字（185字程度）の読み書きができる。
- ・習った漢字を使って熟語が書ける。
- ・小数のかけ算・わり算ができる。
- ・分母が同じ分数のたし算・ひき算ができる。
- ・百分率を使った問題を解ける。
- ・物の動きの規則などを理解している。
- ・世界の主要国の位置を正しく示すことができる。 など



6年生

～1年間で身につけたい力～

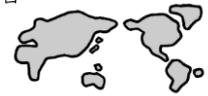
- ・小学校で習ったすべての漢字の読み書きができる。
- ・小学校で習った漢字を使った熟語が書ける。
- ・分数のたし算・ひき算・かけ算・わり算ができる。
- ・比例・反比例の関係を理解している。
- ・歴史上の出来事や、日本国憲法などの社会の用語の概略を説明できる。
- ・てこや水溶液の性質などについて理解している。 など



～自主的な学習の例～

【国語】

- ・教科書の音読、詩や俳句の暗唱
- ・漢字練習
- ・言葉の意味調べ
- ・新しく習った言葉で文作り
- ・教科書の書き写し
- ・本を読んだ感想
- ・日記
- ・今日の学習の振り返り
- ・教科書の次に習うところの確認

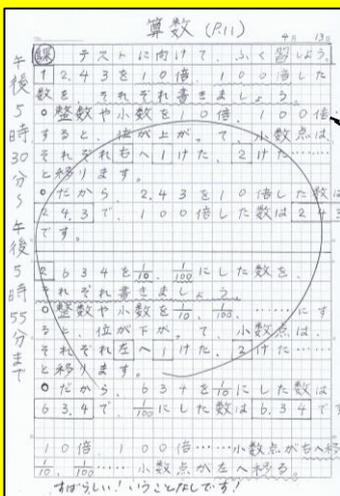


【算数】

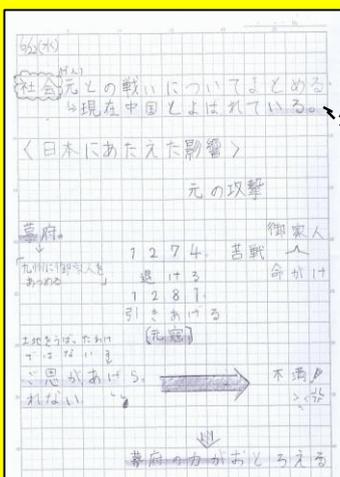
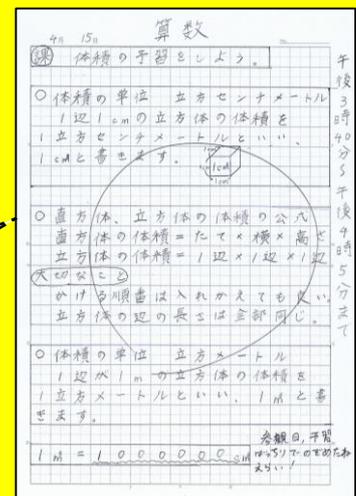
- ・教科書や問題集などを使って習ったことを繰り返し学習する。
- ・教科書の問題の類似問題に取り組む。
- ・計算練習（速さと正確さ、制限時間を設ける）
- ・問題作り
- ・今日の学習の振り返り
- ・教科書の次に習うところの確認

【その他】

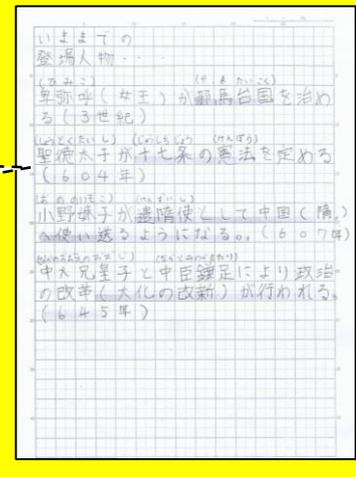
- ・理科や社会の内容について自分なりにまとめる。
- ・理科や社会に関する内容を本などで調べてまとめる。など



左のページは復習、右のページは予習です。教科書を使って、大切なポイントを分かりやすくまとめることができています。



社会の歴史の学習です。元寇が日本に与えた影響や、歴史上の人物について、要点を押さえながらまとめることができています。



1ねんせいの かてい学しゅうについて

1がっきのもくひょう

◎ぜんいんとうたつもくひょう

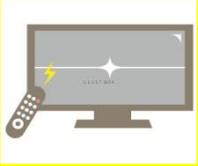
【こくご】 ひらがなを よんだり かいたりすることが できる。

【さんすう】 かんたんな たしざん ひきざんが できる。

◎じぶんが がんばること

もくひょうじかん→ ぶん

かていがくしゅうの まえに



□ がっこうからの おてがみは、おうちのひとに わたしましたか。

□ ベンきょうするばしょは かたづいていますか。

□ てれびは けしましたか。

□ しせいや えんぴつの もちかたは、たしいですか。



かていがくしゅうを はじめましょう

① しゅくだいを やりましょう。

② じかんがあったら、じぶんの がくしゅうを してみましょう。

1ねんせいは「しゅくだい」だけでも いいです。じかんがあったら「じぶんのがくしゅう」も やって見ましょう。

～「じぶんの がくしゅう」では こんなことを してみよう～

こくご ☆きょうかしよを こえにだしてよむ。 ☆ならった じの れんしゅうをする。

☆きょうかしよを のおとに うつつ。 ☆ほんを よんで かんそうを かく。

☆えにっきや にっきを かく。 ☆つぎに ならうところを よんでみる。

さんすう☆きょうかしよや もんだいしゅうなどを つかって ならったことを もういちど がくしゅうする。

☆けいさんれんしゅうを する。 ☆もんだいをつくってみる。

☆つぎにならうところを よんでみる。

*わあくや どりるなどの もんだいしゅうをつかった がくしゅうも かていがくしゅうにはいります。

(のおとがくしゅうの とき)

• ひづけと ようびを かきます。(かけたら、きょう ベンきょうすることや、きょうかしよの ペえじすうなどを かくと あとでふりかえりやすくなります。)

• はじめのじこくと おわりのじこくを かきます。

かていがくしゅうの あとに

□ おうちのひとに みせましょう。

□ えんぴつを けずりましょう。

□ じかんわりを たしかめて あしたの じゅんびを しましょう。

名前 ()

5年生の 家庭学習について

目標

◎全員とう達成目標

【国語】 新しい漢字の8割以上を正かくに書ける。

【算数】 整数の四そくえん算(たし算、ひき算、かけ算、わり算)が正かくにできる。

◎自分が がんばること

目標時間→ 分

家庭学習の 前に



- 勉強する場所は かたづいていますか。
- テレビは 消しましたか。
- しせいや えん筆の 持ち方は、正しいですか。



家庭学習を 始めましょう

- ① 宿題を やりましょう。
- ② 自分の 学習を してみましょう。

～「自分の 学習」では こんなことを してみよう～

国語 ☆教科書を音読する。 ☆詩や俳句を見ないで言う。 ☆漢字の練習をする。

☆言葉の意味調べをする。 ☆新しく習った言葉で文を作る。

☆教科書をノートに写す。 ☆本を読んで感想を書く。 ☆日記を書く。

☆今日の学習のふり返し・まとめ直しをする。 ☆次に 習うところを 読む。

算数 ☆教科書や 問題集などを使って 習ったことを もう一度 学習する。

☆教科書の問題を、数字を変えてとく。☆計算練習を する。☆問題を 作ってとく。

☆今日の学習のふり返しをする。 ☆次に習うところを 読む。

そのほか ☆理科や社会で 学習したことを自分なりにまとめる。

☆理科や社会のことについて、本などで調べてまとめる。

*ワークや ドリルなどの 問題集を使った 学習も 家庭学習に 入ります。

(ノート学習の とき)

- 日づけと 曜日を 書きます。(書けたら、今日 勉強することや、教科書の ページ数などを 書くと 後でふり返しやすくなります。)
- 始めの時こくと 終わりの時こくを 書きます。
- 見やすいノートを 目指しましょう。

家庭学習の後に

- しっかり学習できたか ふり返ってみましょう。(時間は?内ようは?しせいは?)
- えん筆を けずりましょう。
- 時間割りを たしかめて 明日の じゅんびを しましょう。